



県議会報告 岡本かずやの「元気印」

四万十市事務所 :0880-34-3174 携帯:090-7573-8193

2023年7月9日 No.8

ハラスメント（いやがらせ）を許さな



(ポロシャツ姿で意見書への賛成討論を行う私です)

和也の近況

高知に通う列車の窓から外の水田を見つめていたら、「あ！稲穂に実がついてる」と発見。このまま刈り入れまで、しっかり育ててほしいと七夕に願います。
先週に続き、共産党の秦議員の代表質問を下段で紹介します。
今週は「学校現場のハラスメント」についてです。

質問の概要

(土佐清水市の学校現場で起きたハラスメント問題)

二十代の女性臨時教員が、男性教頭から執拗に交際を求められる。さらに、男性教頭は県教委幹部の名を使い採用試験の口利きをするかのような手紙を偽装。さらに、被害者を中傷するという事案がおきている。昨年八月末、被害者から相談を受けた校長は、教頭に対して「完全なセクハラ」「訴えられたら終わり」と注意し、教頭は校長の前で被害者に謝罪をした。ところが、その後もハラスメントは続き、臨時教員は体を壊し病休に、年明け一月に自己都合の退職に追い込まれた。この事案をどう受け止め、対応したか。

県教委の対応

県教委は昨年十二月一日、市教委から報告を受け、「懲戒処分事案」と認識していた。ところが市教委は、被害者には自己都合の退職を勧める一方で、加害教頭には「降格の申し出」を受け入れ、四月には別の学校現場に教員として配属させていた。県教委は、「懲戒処分事案」と認識した時点で、すみやかに市教委の対応を注視し、指導すべきだった。

県教委の対応のまずさに、貴重な教員を失いました。これからの人生に大きな夢を抱いて臨んだ職場で、ひどい仕打ちを行った男性教頭を許せません。こんな事件の時、即対応する県教委の「自己改革」が求められます。

ポロシャツ動議

今議会の最終日、私は「マイナンバーカードの健康保険証利用の運用停止及び現行保険証の存続を求める」意見書に賛成討論を壇上終え自席に着席直前、突然6期目の公明党議員より「岡本議員の服装に関する議事進行動議」が出されました。

私はその日、今年の四万十市民祭のポロシャツを着用して壇上に上がりました。公明党議員は上着を着用する様にとの動議でした。私は「五月よりクールビズで議場でのポロシャツ着用が認められている、上着の着用は何ら規定されていない。何が問題か」動議者に説明を求めました。結局問題は無いことが判明。「議会ではもともと県民の重要な事を議論しろ」テレビを見ていた県民のご意見「もつと